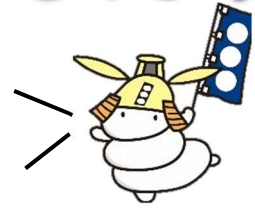


津市役所職員を体験しました！

私は今回健康福祉部を体験させていただきました。

福祉の分野は、生まれてから死ぬまで長きに渡って利用することになります。

どんな業務があるのかご紹介します！



健康福祉部

皇學館大学3年

実習日 令和4年8月8日～12日



▲ 安濃子育て支援センターの職員さんと民生委員さん

健康福祉部は9つの課と4つの部屋で組織されており、約700人の職員が在籍しています。課によってやっていることが全く異なり、子ども、高齢者、障害者、医療まで幅広く行っている課でした。インターンシップでは、介護福祉課、子育て推進課、こども支援課、地域医療推進室、障がい福祉課にお邪魔しました。どの課の方も優しい方が多く、私たちの質問にも丁寧に答えてくださいました

1. 主な業務内容の紹介

数ある課のうち、こども支援課の業務をご紹介します。

こども支援課では、子育て世帯・一人親家庭等の生活安定と向上のための給付や支援、DV・児童虐待等の相談・対応、発達支援などに関する業務を行います。

★具体的な事業

- ① 児童母子福祉事業
- ② 児童手当等給付事業
- ③ 母子父子寡婦等、婦人保護事業
- ④ 子育て支援対策事業
- ⑤ 発達支援事業
- ⑥ 児童館運営事業
- ⑦ 低所得者の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金給付事業



▲ げいのうわんぱーく



▲ げいのうわんぱーくにあるボルダリング

2. 健康福祉部のイチオシ！



▲ 夏祭りの様子です

○ 子育て支援センター運営

未就学児の子どもを対象に、親子で集い交流できる場所です。

私たちは安濃の子育て支援センターで夏祭りのイベントに参加させていただきました。子どもたちは輪投げやお面落としゲームを楽しんでいました。保育士さんが見守る中安心して遊ぶことができるので、お母さんにとって心のよりどころになっていました。また安濃は地域の民生委員さんとも交流があり、地域ぐるみで親子を支える温かい場所でした。

○ 津市子ども家庭総合支援拠点を設置

こども支援課に設置し、面談・訪問等で子どもや家庭に関する相談に専門の相談員が応じ、助言や支援を行います。

必要に応じて、生活保護や障害者手当などの市で受けられる制度を利用してもらったり、中勢児童相談所や子育て包括支援センター、津市児童虐待防止等ネットワークと連携、協同して支援を行います。



▲ 児童相談所虐待対応ダイヤル 189

3. うれしいこと、大変なこと

★どの部でもそうだと思いますが、ぼんやりとしていたプロジェクトが、様々な人との関わり、市民の人と関わりながら形になったときにやりがいを感じます。

★また、市民の人に直接関わる部署なので、こちらの思いが届きありがたいと感謝されると嬉しいです。

こども支援課では、重たい事案に触れることもあり、専門的な知識が必要であることが大変です。研修や、地域の機関との連携、協同が必須だと感じました。専門的な知識を持った職員がいると助かるとのことでした。

4. インターンシップを終えて

全てを紹介しきれませんでした。健康福祉部は手続きの事務作業はもちろん、市民の相談を聞きながら、一人一人にあった対応をしているところだと感じました。子育て支援センターやこども園、応急クリニックなど生活するのになくしてはならない施設の運営もしているので、地域と密接に関わることができる魅力的な部署でした。課によって様々なことが体験できて興味深いインターンになりました。

インターンシップのスケジュール

8日(月)

午前 介護福祉課事務業務

午後 介護福祉課事務業務

9日(火)

午前 子育て支援センター実習

午後 こども園実習

10日(水)

午前 児童館、たるみ子育て支援センター見学

午後 げいのうわんぱく実習

12日(金)

午前 地域医療推進室事務補助

午後 障がい福祉課実務処理、

まとめ